

## 1. 活動報告（事務局 記）

ー2月1日（日）午前：① 池ゾーンの散策橋修復 北側 完了

② 蓮田の合鴨養育小屋、周囲網解体済

寒い中21名の参加で修復作業も進展しています。

午後：「里山自然観察隊」の活動詳細打合せ 17名の指導員とスタッフの皆さんで協議し、平成21年度活動方針（案）が決定しました。 主な決議は、

① 年4回（春の観察ー1 及び2、川の探検、秋の観察）の活動になりました。

② 4回それぞれの責任者（美濃和、松原、関根、西原）が決まり、それぞれの指導者とスタッフを決める事になりました。

③ 隊員と保護者会員は当会独自の保険に加入する事になりました。

④ 隊員募集は西原隊長が従来の通り行う、地球温暖化対策ネットへの助成申請は事務局にて行う事にそれぞれなりました。

⑤ 隊員募集は20名、ジュニア含むMAXを30名以下に限定し、ジュニア隊員は保険料として会費を徴収する事になりました。

⑥ 会員全員の参加を促すため、スタッフとして振り分け指名することになりました。

ー2月21日（土）14名の参加を得まして作業がはかどりました。

① 池ゾーンの散策橋の須賀河内川側の架け替え完了

② 田んぼの稲作準備のための厩肥搬入散布 若干残りました。

③ 2月第一日曜日の修復作業残材の片付け完了

④ 午後 水車水路の葉っぱ除去、サイフォンパイプの詰りさらえ掃除済み

## 2. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者

ー3月1日 里山ビオトープでネイチャーゲームの会の今年度初の行事が開催されます。

◎ 行事

ー3月1日（日）維持活動 トイレ屋根のカヤ葺き施工、湿地帯通路の一部修復

エコアップ 止水池周囲のシガラ施工

ー3月21日（土）維持活動 エコアップ 蓮池、止水池周囲のシガラ施工

## 3. 来訪者の声（東屋のノートより一部抜粋）

今月はありません。

## 4. 会員の声（原田 満洲夫 記）

雪が降ったのもつい先だって、水仙が咲き始めたのも、梅が花を開いたのも先だって、いつ冬が終わって、春が来たのかまったく季節の変わり目が判らなくなりました。

里山も（あえてビオトープを外して記載しません）田んぼの準備のため溜めていた水を抜き乾燥中ですが、残った水溜りの中に赤ガエルが産卵し5～6ヵ所の卵を池ゾーンと湿地帯に運んでやりました。いつものところではカスミサンショウウオが卵を生んでいると聞き現場を確認しました。

すっかり春到来と言っていいのでしょうか？ また今年も草刈に多忙を極める事になることと思います。時間を持て余している僕、君、あなた、春から夏へ、健康的な汗をかき有意義な日を送りましょう。

## 5. ビオトープ関連（ビオトープのトンボたち）（ 管 哲郎 記）

### （9）オツネントンボ（アオイトトンボ科）

*Sympecma paedisca*(Brauer)

平地から低山地にかけてヨシなどのある植生豊かな池や沼、湿地などに生息し、成虫で越冬する代表的なイトトンボです。体色は淡褐色で雄（♂）も雌（♀）もほぼ同じ色をしているので、枯れた枝先や枯れ葉の上に止まられると見失うこともあります。

植生豊かな池といっても全ての池に生息しているわけではなく、やはり生息している池も限られているようです。もっとも、見つけにくいトンボなので気づいてないのかもしれませんが、生息環境の良い場所ではたくさんの固体を見ることができます。

成虫の発生は4月～5月に最盛期をむかえますが、近頃は暖冬のせいもあり冬場でも風のない暖かな日中で池周りの石の上や枯れ枝先などに休止している固体を見ることがあります。

和名のとおりオツネン（越年）するトンボであり、1年中あちこちで見られますが、盛期を過ぎると集団でみられず単独でみかけることが多くなります。国内では北海道から九州北部までに生息しているようで、国外ではユーラシア大陸のやや北寄りの地域とされていますので、いくぶん北方系のトンボのようです。

ビオトープの中で見つけましたが発生源の確認はできていません。周辺にはため池も多く、そこから飛来したのかもしれませんが。羽化は6月～7月が最盛期とされていますので、今年の初夏にはビオトープの池で羽化する本種を確認したいとおもっています。

同科でホソミオツネントンボがおり、越冬型では見分けが付かないほどよく似ていますので要注意です、同じく成虫越冬しますが、春になると鮮やかな青色に変色するので、そのときは見分けられます。



オツネントンボ（♀）



オツネントンボの連結産卵状況



オツネントンボ（♂）

## 6. 会よりの連絡事項 （事務局より）

3月の活動は主に修復作業、エコアップになります。水の中に入れるような活動仕度で参加くださるよう連絡します。 工具、材料は事務局のほうで準備します。

## 7. 編集後記

小田です。周南市に引越をして、そろそろ1年が経とうとしています。その間、ビオトープに参加できたのは、3回くらい・・・なんとも出席率の悪い私が、編集委員をさせていただいているおかげで、ビオトープの現状を知ることができています。

今回の会報では、管さんご紹介のオツネトンボの連結産卵状況、素晴らしいですね。ビオトープの中でも、同様の現象がおこっているのかも？とワクワクします。

こうして、豊かな生態系が見られるのも、月2回の活動と事務局の日々のフォローのおかげと感謝しています。今年度は、出席率をあげるぞ！と決意して、編集後記をおわります。

（ 小田 政江 記 ）

以前は全く興味のなかったマラソンが、今では趣味の1つになっています。山口県のマラソン大会に何度か出場し、昨年は念願のフルマラソンにも挑戦しました！訓練のため家の周りを走っているのですが、毎回同じコース、同じ時間に走っていると、「あ～、日の出が早くなったなあ」とか、「あ～、スイセンが咲き始めたなあ」と、季節の変化を感じることができます。

ビオトープの活動に参加して3年目になりますが、行くたびに違った顔を見せ楽しませてくれます。今年もいろいろ発見していきたいと思います。

（ 吉崎 礼子 記 ）